

名画とは何か

-レオナルドからファン・ゴッホまで-

定員・回数：60人・3回

時間・場所：午前 10:00~11:30・研修室

費用：受講料 600円

講師：岐阜大学 教育学部 教授 野村幸弘

名画とは何でしょうか？それはおそらく何世紀にもわたって注目され、語り継がれ、今なおわれわれを魅了し、解けない謎を投げかけてくるような作品ではないでしょうか。講座では、レオナルド・ダ・ヴィンチの《モナ・リザ》、ジョルジョーネの《テンペスタ》、ファン・ゴッホの《カラスのいる麦畑》を取り上げ、その謎と魅力に迫ります。

10/ 1(土)	レオナルド・ダ・ヴィンチの《モナ・リザ》 あまりにも有名すぎて、知っているような気になる作品ですが、ここではあらためて、この絵がどのように構想されたのか、またどのような意味があるのかについて、詳しく見ていきます。
11/ 5(土)	ジョルジョーネの《テンペスタ》 この作品は、日本ではまだあまり有名ではありませんが、ヴェネツィア・アカデミア美術館が誇るヴェネツィア派の最高傑作です。にもかかわらず、この絵の主題については、いまだに解明されていません。その謎に挑みます。
12/ 3(土)	ファン・ゴッホの《カラスのいる麦畑》 よく知られているように、この絵はファン・ゴッホの約 10 年という短い制作活動の最晩年に描かれた、まったくひと気のない風景画です。ファン・ゴッホが最後に到達、あるいは未到達に終わった絵画の意味について考察します。